



Yamamoto Acc office



# 山本総合会計ニュース

編集 発行人  
税 理 士

山本孝久

〒152-0003  
東京都目黒区碑文谷5-12-1  
TS碑文谷ビル2F  
TEL 03 (3791) 8863  
FAX 03 (3791) 8292

11月

(霜月) November

3日・文化の日  
23日・勤労感謝の日

日	14	28
月	1	15 29
火	2	16 30
水	3	17
木	4	18
金	5	19
土	6	20
日	7	21
月	8	22
火	9	23
水	10	24
木	11	25
金	12	26
土	13	27

## 11月の税務と労務

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 国 税／10月分源泉所得税の納付<br>11月10日                     | 国 税／3月決算法人の中間申告<br>11月30日        |
| 国 税／所得税予定納税額の減額承認申請<br>11月15日                  | 国 税／個人事業者の消費税等の中間申告<br>11月30日    |
| 国 税／所得税予定納税額第2期分の納付<br>11月30日                  | 地方税／個人事業税第2期分の納付<br>都道府県の条例で定める日 |
| 国 税／9月決算法人の確定申告<br>(法人税・消費税等) 11月30日           |                                  |
| 国 税／12月、3月、6月決算法人の消費税等の中間申告<br>(年3回の場合) 11月30日 |                                  |

※税を考える週間 11月11日～11月17日

### ワンポイント 給与所得控除

給与所得は、給与等の収入金額から給与所得控除額を差し引いて計算します。この給与所得控除はサラリーマンの概算必要経費と位置付けられていますが、上限が無いことから高所得者に有利な制度となっているとの指摘があります。政府も見直しを検討しており、来年度税制改正の焦点となりそうです。

# メンタルヘルス



## ■メンタルヘルスケアの重要性

ストレスを抱える人は増加傾向にあり、心の不調による休職や離職もまた増加しています。

働く人たちがその持てる能力を発揮し、仕事や職場で活躍するためには、心の健康管理（メンタルヘルス・マネジメント）への取り組みが一層重要になってきています。

心の健康管理には、一人ひとりが自らの役割を理解し、ストレスやその原因となる問題に対処していくことが大切です。また、雇用する企業としても、社会的責任の履行、人的資源の活性化、労働生産性の維持・向上を図るうえで、社員のメンタルヘルスケアについて組織的かつ計画的に取り組む必要があります。

日本におけるうつ病患者数は約三六〇〇～六〇〇万人（WHO調



査）、国民の二〇人に一人がうつ病と推計されています。

また、一生のうち一度でもうつになるかどうか、という生涯有病率は、一〇～一五％といわれています。

日本で一千万人を超えるとも言われている「うつ病予備軍」。非常にありふれた病気で、誰がいつ発症してもおかしくないと言えます。

## ■適応障害

適応障害のように、会社などの環境との相性といったものが原因で起こる場合も増えてきています。

適応障害とは、ある社会環境においてうまく適応することができず、さまざまな心身の症状を起す精神疾患であり、職場不適応症とも呼ばれます。

## ■成果主義の導入

うつ病の広がりには感染症のようなものです。会社にうつ病の人がいて、もし職場のムードが暗かったとしたらどうでしょう。意外かもしれないですが、実は、職場の雰囲気とか、職場に話し合える人がいる、笑顔がある、こういったことがうつ病を防ぐ秘訣なのです。

成果主義の導入で、今の日本にこういった環境がなくなってきたいます。それが、うつが流行っている理由のひとつとも言えます。

## ■うつの感染

実際に、環境要因のために、同じ職場で何人ものうつが発生することは多くあります。これには三つの理由があります。

一つ目は、その職場自体が大きな問題を抱えているために、職場の従業員が次々にうつになっっていく場合です。

二つ目は、うつ病で休んだりする社員が出て、「やる気がない状態」が蔓延したりすることで

す。うつ病の社員が復帰してきても、当初は元通りのように仕事ができません。中には「こういう状態でも給与がもらえるなら、自分だって」と考えるひどい社員も、いないわけではないでしょう。

三つ目は、人員が実際に欠けたために残った人に過剰な負担がかかり、今度はその人がうつになってしまふというものです。

立場や職位が徐々に上がってくれば、内部でも外部に対しても直接の交渉ごとが増えるものです。今は、この交渉のややこしさ、煩雑さが極端に増えています。

それは単に職位が上がって責任も増したからというケースだけではありません。コンプライアンス（法令順守）の強化など、企業により、厳しいルールが求められるのも事実です。消費者からの厳しい目もあり、チームも増え、中にはクレイマーのような人たちもいるでしょう。このように、いろいろな意味で「ややこしい交渉」を扱う場面が増えたのです。

うつが多いのは、このような交渉ごとにかかわる部門の人た

ちです。自由度が高い会社や、仕事のやり方や報酬などで自由度の高い営業職には、うつ病は少ないようです。逆に、同じ営業職でも、顧客と社内の開発・技術部門との橋渡しを行うソリューション営業など、ややこしい交渉ことが多い場合には、うつが多いようです。

### ■仕事や職業生活に強い不安や悩み

メンタルヘルスは企業への直接的な影響が大きく、ここが糖尿病などの生活習慣病と違う点です。

企業の生産性が低下するので、まず会社を休む時間が増えてしまいます。うつ病による障害日数(欠勤日数)は非うつ病の人の四倍、といった報告もあるくらいです。

また、不眠症や寝不足による経済的損失は年間約三兆円を優に超える試算もあります。

眠気による作業効率の低下や、交通事故の危険性が高まるため、企業にとっては大きな損失となるのです。

### ■仕事没頭型人間

現代の環境では、目標達成した人たちは、すべてメンタルヘルス問題予備軍と考えてよいでしょう。燃え尽き症候群は、「仕事没頭型人間が、課せられた仕事に誠心誠意打ち込み、目標を達成した途端、目標を失うとともに力が尽きてしまうこと」と定義されます。

「会社人間」が、燃え尽きの典型的なパターンです。会社で上り詰めることが目標なので、それがある程度できた瞬間、あるいはできないとわかった瞬間が危険です。

### ■価値観の多様化についていけない企業

景気が悪くなる前は三年間で三割の新社員が辞めると言われました。問題は日本の会社に人事や採用のスペシャリストが少ないことに起因していると思われれます。

すなわち、人を判断するのに一番必要なものは多くの経験ですが、一社だけに「就社」して

いる人は、価値観の多様化に一番ついていけない可能性さえあります。今は不況の真ただ中で、比較にくいところがありませんが、若い人の価値観が多様化していることに企業が対応しきれていない以上、どのような採用方式をとったとしても、適応障害の発生や離職は避けにくいのです。

### ■二種類の社員像

うつ病がクローズアップされている大きな原因は仕事に対する意識が変わってきていることです。簡単に言えば、出世よりも満足を求める人が増えてきているのです。「会社人間」はいなくなり、社員は二種類の社員像に分化してきていると考えたほうがいいでしょう。一つは安定を求めるタイプで、もうひとつは、自らの価値観を大事にする社員です。

### ■コーチング

従来の管理職の多くは文字通り部下を管理する、あるいは服

従させるといった上下序列的なマネジメントを行ってきました。しかし、今後は管理をするという意識だけでなく、部下との信頼関係を築くことに重きを置く、また服従させる意識よりもコーチングの質問手法などを上手に使い、部下の自立心を促す、自己実現を支援するといったコーチングマネジメントに移行する必要があります。

### ■インフォーマルネットワークの形成

不適合の症状を起こしている人が、会社の愚痴や状況を打ち明け、共有できる社内の友人ができたとともに、回復に向かうといったことも経験されます。これは、社内の友人のほうがいいのです。社外の友人の場合には、複雑な状況を説明するだけで逆に疲れてしまう場合もあるからです。

何かあったらすぐ先輩に聞くというインフォーマルネットワークの形成が重要となる可能性があります。

## 買う「水」のいろいろ

1983年に「カレー用のチェイサー」として発売された水が日本での家庭用ミネラルウォーターの先駆けと言われてから約四半世紀。お気に入りの銘柄の水を購入している方も多いのではないのでしょうか。

ひと口に「水」といっても種類はさまざままで、売られている水すべてがミネラルウォーターというわけではありません。

ボトル飲料水は、①ナチュラルウォーター（特定水源より採水された地下水。ろ過・沈殿および加熱殺菌以外の化学的処理を行わないもの）、②ナチュラルミネラルウォーター（ナチュラルウォーターのうち、地下にある間にミネラル類が溶解したものの。天然の二酸化炭素が溶解して発泡性を持つ水を含む）、③ミネラルウォーター（ナチュラルミネラルウォーターを原水とし、品質を安定させる目的などのためにミネラル分の調整、ばっ気、オゾン殺菌、紫

外線殺菌などを行ったもの）、④ボトルドウォーター（前記3つの水以外の飲用水）に分類されています。ラベルの品名を見るとわかるので、購入時の目安になります。

さて、近頃はスーパーなどで水が提供されていますが、店の会員へのサービス還元や来店促進という意味合いもあって安価に設定されているのが特長。

店舗によっては容器を買えば無料というところもあります。ボトルに品名表示がないので、どの水に分類されるのかを店頭またはパンフレットで確認するとよりよいでしょう。

また、味の好みを左右するのが水の硬度でしょう。ミネラルを多く含有する「硬水」は数値が高いものほど苦味を感じ、数値が低いものは「軟水」でくせのないまろやかな味です。

硬水は肉料理に適しているとされ、軟水は赤ちゃんのミルクやお茶、炊飯に最適といわれています。

## 地球にやさしいプラスチック

資源問題や自然破壊への対応として、新世代のプラスチックが登場しています。そのひとつが「バイオマスプラスチック」。トウモロコシやサトウキビなど植物由来の原料からできています。卵のパックや食品トレー、ポイントカードなどにも使われているそうです。

もうひとつが「生分解性プラスチック」。木や木綿などと同じように微生物によって分解され、最終的には二酸化炭素と水になるという、まさに自然に還るプラスチックです。その性質を活かして野菜畑の土を覆うフィルム、海や川で使うロープ、魚網などに使われることが多く、もし散逸しても土に還るので鳥の足にからんだり魚がネットを飲み込んだりする心配がありません。生ゴミと一緒にコンポストに入れることができる水切りネットも商品化されています。

どちらも地球にやさしいプラスチックとして、今後が期待される素材です。

## ポタリング

近年の健康志向や節約志向を受け、自転車で通勤する「ジテツウ」「自転車ツーキニスト」もすっかり市民権を得ました。自転車環境や健康によいことはわかりましたが、駅や学校まで、あるいは買い物に使う程度の人でも楽しめることはあるのでしょうか。

それは「ポタリング」。耳慣れないことばですが、「自転車  
で散歩すること。目的地を定めたり走行計画を立てたりすることなく、気分や体調に合わせて気の向くままに歩くこと」という意味の自転車用語です。  
ちよつと隣町まで探検してみよう、とか、雑貨屋さん巡りをして帰りは食材を買ってこよう、などの感覚で誰でも自分流に楽しめるのがポイント。  
もちろん装備や体力も問われません。自転車でお散歩です。